

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



## シャインマスカット首位堅持



- 本年1月6日の日本農業新聞に流通業者が注目する**果実ランキング**が発表されました(表)。
- 1位は13年連続でブドウ「**シャインマスカット**」であり、不動の首位を堅持しました。
- 2位は愛媛県産カンキツ「**紅まどんな**」、3位は小玉スイカ「**ピノ・ガール**」と続きます。スモモ「**貴陽**」は17位と健闘しました。今後は他の県産ブランド品種にも期待します。
- 人気品種の条件は、まず**美味しい**ことですが、その他に、種なしや皮があってもそのまま食べられる等の**手軽な特性**も重要です。
- さらに、円安傾向が続く状況では、**輸出も重要な流通先**です。東南アジアでは栽培されないリンゴやサクランボ品種が多くランクインしているのが注目されます。

表. 2023年に注目する果実ランキング

順位	品種・ブランド
1	シャインマスカット (ブドウ)
2	紅まどんな (かんきつ)
3	ピノ・ガール (スイカ)
4	紅秀峰 (サクランボ)
〃	とちあいか (イチゴ)
〃	ぐんま名月 (リンゴ)
7	シナノスイート (リンゴ)
〃	新甘泉 (梨)
9	太秋 (柿)
〃	あまおう (イチゴ)



## 南岸低気圧は降雪の可能性



- 日本海沿岸地域と違って、山梨では真冬に大雪は降りません。大雪の可能性が高まるのは寒さの緩む**2~3月**です。
- 日本列島の南岸を東に進む低気圧による影響です。**八丈島付近を通る時**が雪の可能性が高く、北側を通ると雨、南側を通ると曇りにかわると言われます(図)。
- 過去に2014年2月14、15日の様な**大災害**に至った事例が数多くありました。
- この低気圧の特徴は影響要因が多く、**正確な予報が困難**な点です。**最新情報**を入手し、**指導機関の指示**に従いましょう。

図. 関東の天気に影響 南岸低気圧とは



出典: [https://tenki.jp/supp1/tenki.jp\\_labo/2022/02/06/30886.html](https://tenki.jp/supp1/tenki.jp_labo/2022/02/06/30886.html)